

令和6年度 第1回松伏町子ども・子育て支援審議会 議事録

1. 日時 : 令和6年6月27日(木) 午後2時00分～4時00分

2. 場所 : 松伏町役場本庁舎2階201号室

3. 出席者 : 13人

(委員) 8人

若盛(正)会長、竹森副会長、石井委員、今井委員、庄野委員、
小熊委員、宮本委員、若盛(清)委員

(欠席) 栗原委員、岡野委員

(事務局) 5人

桐課長、川尻主幹、齋藤主査、並木主査

(株)環境総合研究所(山内)

4. あいさつ(若盛会長)

5. 自己紹介(委員全員)

6. 議事

(1) 事業計画策定までのスケジュール確認と骨子案の構成について

事務局((株)環境総合研究所 山内)より資料1と資料2の説明

資料1:「業務実施スケジュール」

資料2:「骨子案の構成について」

【説明概要】

・資料1で、令和6年度の業務日程として計画書策定に関わるイベント(町民アンケート結果確認/骨子案審議/素案審議/パブリックコメント後の確認/最終案・概要版の確定)等の実施時期の説明。

・資料2で、計画書の全体構成を骨子案(目次)を使って説明。

その他、児童福祉法の改正により新設・拡充された事業の追加や、子どもの貧困対策に係る事業を新規計画に盛り込む検討を行うことなどを説明。

質疑応答等

○若盛会長

今の説明は、町の意向を踏まえながら 新しいものを組み込むという形で提案をされたものですか、それとも、(株)環境総合研究所の方で 国の動向を考えながら、こうした方が良いという意向の上で提案されたものですか。

●事務局 ((株)環境総合研究所 山内)

本日の説明内容も含め、新しい計画に盛り込む内容として、新たに追加検討しなければいけない事業や町の色々な課題出し等、事務局と弊社が意見を出し合いながら決めたものとなります。

また、今後、弊社から他市町村の動向を踏まえての提案も行えると考えています。

○若盛会長

今後、それら提案された内容の確認・審議は、この審議会の中で行うものと理解して良いですか。

●事務局 ((株)環境総合研究所 山内)

まずは計画案(骨子)として事務局と擦り合わせて作成していきますので、その内容をこの審議会の中で審議していただくものと考えています。

○若盛会長

国の色々な新しい情報を踏まえての計画書づくりになりますので、本日説明の内容で策定を進めていきたいこと理解しました。それら内容は“案”として扱い、この審議会の中で審議・決定と進めていきますのでご理解ください。

●事務局 ((株)環境総合研究所 山内)

承知しました。

●事務局 (川尻主幹)

基本的に事務局側でも国や県から入手した情報より計画書策定について考えていることもありますので、(株)環境総合研究所からの他市町村の情報も踏まえながら、双方で擦り合わせを行い計画書案を作成します。その計画書案を審議会の中で委員の方に審議をお願いしたいと考えています。

○若盛会長

事務局側で擦り合わせを行った計画書案を、委員で審議する流れで進めること、理解しました。委員の皆様、よろしくお願いいたします。

(2) 子ども・子育て支援に関するアンケート調査の結果報告について

事務局（川尻主幹）より資料3の説明

資料3：「子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書」

【説明概要】

・資料3で、調査概要及び調査票で使用した設問全体に渡り結果を説明。

質疑応答等

○若盛会長

今の結果報告について、各委員より一言感想などお願いしたいと思います。

●石井委員

P29の「平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由」として、“子どもがまだ小さいため”とした割合が、3歳以上となればこの数値も変わってくるのかと思いますが、とても多いと感じました。

最近、子どもに手足口病のような感染症がみられ、困っているお母さんが多くなっています。これまでの計画書などにも書かれていますが、病児保育についてなかなか進まないと感じていまして、近隣の市町村との連携や補助により少しでも問題の低減が出来たらなと思っています。

P87の設問39の選択肢にある「安心して子供が医療機関にかかれる体制を…」とあるが、“安心”とはどんなイメージですか。

○若盛会長

信頼できるもの、設備が完備されている、ということでしょうか。

“体制”ということでは、病気別にいくつもの専門の科があるため、利用する側からすると利便性を考えた連携があると良いと思います。

●石井委員

そういうイメージなのかと考えていました。

●宮本委員

P27 で松伏町以外の越谷市や吉川市を、教育・保育事業を実施場所としている方がいますが、町内で預けていただけるよう魅力のある園にしなければいけないなと思いました。

○若盛会長

データをみると越谷市 17.5%、吉川市に 4.4%と多くの方が町外に出ていることが分かります。

●小熊委員

松伏町での長所を挙げると、全ての学童クラブが学校の敷地内にあるので、校庭を自由に使うことができます。子どもたちにとって幸せなことだと感じています。

学校との連携が良く、大変に助かっています。例えば、学童クラブでは、昨年度行った「不審者対応の訓練」では不安を抱えていましたが、非常時の連絡先として警察の他、学校にも連絡する体制ができて安心してあります。

また、松伏町すこやか子育て課のご協力により、近隣の市町村に先行して、令和3年にWifiを導入していただきまして、学童クラブの子どもたちはタブレットを使った宿題ができております。こういった松伏町の機動力の良さ、連携に感謝しています。

短所では、学童クラブは歴史が浅く制度が追いついていない点です。学童の職員になるために特に資格は必要なく、職員の力量の向上について課題だと感じています。

学童クラブの中に発達障害の子も数人おり、年齢も様々でトラブルも絶えません。本日の骨子の中にも記載がありますが、こういう子どもたちへの配慮もお願いしたいと思います。

また、保護者の要望で利用時間の延長がありますが、アンケートの結果も踏まえて対応の検討を行っていただけたらと思います。

●若盛(清)委員

アンケートの結果をみて、保護者の率直な気持ちが出ていると感じ、幼児施設での色々な課題点を拾い上げ、具体的に考えなければいけないと思いました。

P85 の子育てに関する情報の最も多い入手先がインターネットとなっていますが、幼児施設の割合を上げる努力しなければいけない、園が子育ての情報を発信していかなければいけない、と思いました。また、保護者の人にも園で育ててほしいとの思いが有るので、これからは幼児施設全体でそれを一緒に考えていくことが必要で、そこに地域の人たちを巻き込んでいくことを町の目標にして

いけたらと思えました。

●今井委員

松伏町は医療過疎地域になっているのではと思っています。内科以外の医療施設は整っていないので、色々な科目の診療ができる病院があると良いです。

子育ては、たくさんの情報から必要なものを取捨選択できる力が必要です。また、“子は親を見て育つ”という観点から、大人を元気に、そして教育していく町の指針のようなものがあっても良いと思います。

●竹森委員

貴重な調査ありがとうございました。松伏小学校では1年間で30人の子どもが減りました。毎年4%ほどの割合で減っています。危機感を感じており、この調査結果から町として何に取り組んでいくべきなのか見えてくると思います。

例えば、母親の帰宅時間が6時頃ですが、学校の働き方改革で6時には学校側は職員不在となっています。仕方ないことですが、実状と合わないことになっています。見えていないことが、今回数字で見えてきたので、今後役に立つと感じました。

●宮本委員

松伏町は、“消滅する可能性がある”自治体の一つになっていますが、出生率を上げる対策などについて、町に具体的なお考えはありますか。

○事務局

総合振興計画に記載の少子高齢化対策を実行していくことで、人口減少の減り幅を少なくすることができると考えています。

●宮本委員

松伏町が子育てがしやすい町となれば、町外からも人が来てくれると思います。

○事務局

子育てに限らず、他の分野でも人を集める施策が入っています。

○事務局

また、第3期子ども・子育て支援事業計画の中に、具体的な事業や施策について、町の取り組み、幼児施設などの皆さんにご協力をいただく取り組みを整理して入れていこうと考えています。

○若盛会長

町の総合振興計画の他に、県でも色々と対応しなければいけないという動向が出てきており、現在、対策案を入れた骨子案までつくってきており、今後、パブリックコメントで意見をいただいて、対応していくことになっています。

本日、お集まりの皆様におかれましても、発信していく前向きなアイデアを出していただきますようお願いいたします。

●若盛(清)委員

“こどもまんなか社会”の言葉の通り、地域の色々な方を巻き込んで、子どもの育ちを支えていくことが大事だと思います。

骨子案にも記載の子どもの貧困対策に関連しますが、県の方で「衣類バンク」という活動があります。子どもの衣服で困っている方へお届けしている活動になります。町におかれましても「こういう活動を行っています」等々、たくさんアピールすることで子育てに優しい町のイメージアップにつながると思います。

(3) その他

・審議会の開催日時の報告と委員の出席可否の確認

○若盛会長

今後の審議会の日程について説明をお願いします。

●事務局

(次第に記載の審議会第1回～4回の日程を報告)

○若盛会長

委員の方の出席可否を確認させていただきます。

7/30 はどうですか。

●竹森委員、宮本委員

7/30 は欠席でお願いします。

●若盛(清)委員

7/30 は遅れて参加します。

○若盛会長

それでは、全4回で審議会を進めていきますのでよろしくをお願いします。

○事務局

以上をもちまして、「第1回松伏町子ども・子育て支援審議会」を終了させていただきます。

以上